

ふしぎなたけのこ

松野 正子/さく 瀬川 康男/え 福音館書店

やまおくのむらにすむおとこのこ「たろ」が、たけのこをほりにいくと、とつぜん、たけのこがぐぐぐっとのびるのびる。ひっしてたけのこにつかまるたろを、みんなでさがしにいくとそこには…。



おおきくないすぎたくま

リンド・ワード/文・画 渡辺 茂男/訳 ほるぷ出版

ある日、おとこのこはもりのなかで、小さなくまの子をひろいました。ところが、くまはどんどんおお大きくなっていき、まわりの大人に迷惑おとな めいわくをかけてしまいます。おとこのこは仕方なく、くまを森へもり かき帰そうとするのですが…。



としょかん 図書館からのお知らせ

「よんでみませんか」・「かだいとしょ課題図書（小学生向け）」は、夏休み中に読みたい人がたくさんいます。「リクエストの本が用意よういできました」という連絡れんらくがきたら、3日以内に借りにきてください。

【貸出期間】

「かだいとしょ課題図書（小学生向け）」……1週間しゅうかん

「よんでみませんか」……2週間しゅうかん

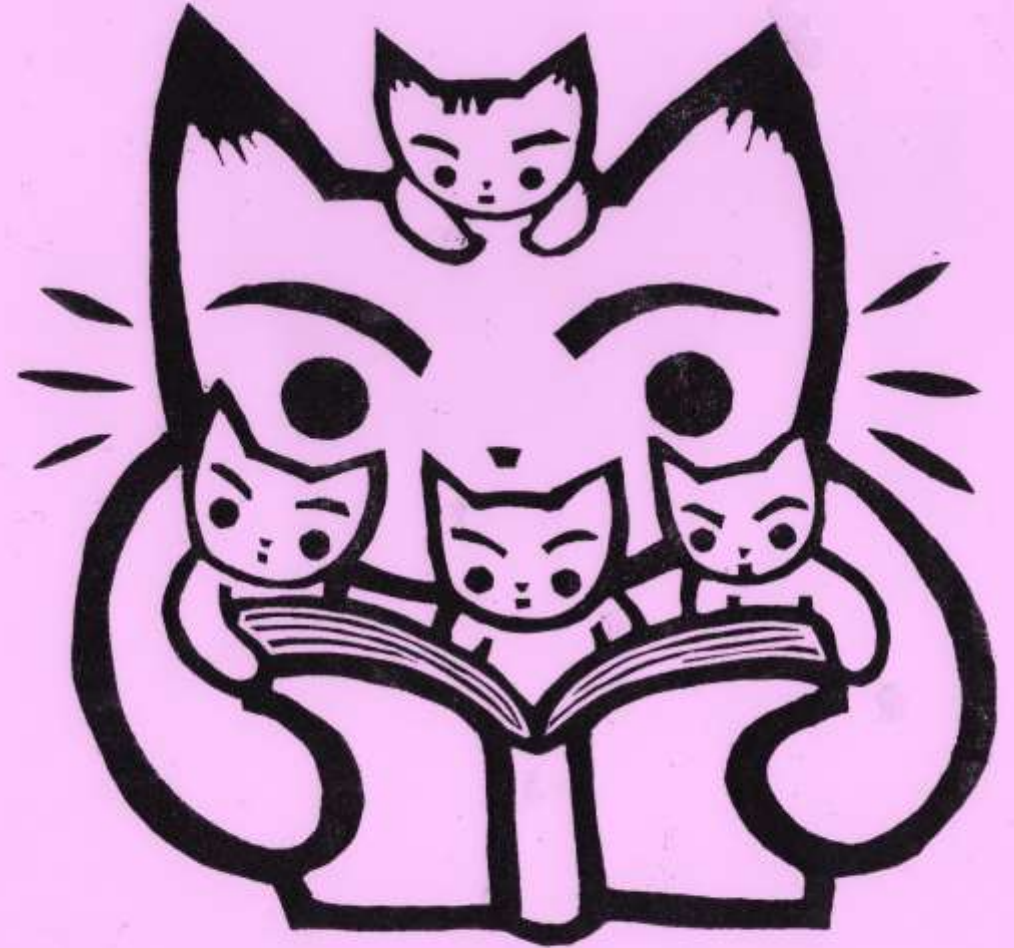


表紙と裏表紙 大野 隆司・版画

柏市立図書館

電話 04-7164-5346
<http://toshokan.city.kashiwa.lg.jp/>

よんでみませんか



1・2ねんせいのみなさんにすすめる本

2019年

かしわしいつとしょかん



ごちそうの木

ジョン・キラカ/作 さくま ゆみこ/訳 西村書店

日照りがつづき食べるものがない動物たちは、おなか
がペコペコです。たっぷり実をつけた木を見つけます
が、実が取れません。そこで、かしいカメに聞くこと
にしました。タンザニアのむかしばなし。

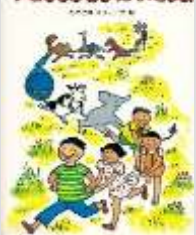


だいち

谷川 俊太郎/詩 山口 マオ/絵 岩崎書店

だいちのうえで、くりひろげられている人々のくら
し。つかのまだけどけんめいに生きている。ページをめ
くっていくごとに、あたらしいせかいがひろがっていく
詩のえほん。

へんてこもりにいこうよ



へんてこもりにいこうよ

たかどの ほうこ/作・絵 偕成社

なかよし四人ぐみが、ハンテ・コスタさんがつくった
へんてこもりで、どうぶつしりとりをしていると…。
みたこともない、とってもへんてこなやつがあらわれ
ました。さあ、たいへん!



もりのほうせきねんきん

新井 文彦/写真・文 ポプラ社

ねんきんは、いきものです。とても ちいさいけれど
うつくしい。ぼくは「もりの ほうせき」とよんでいます。
もりの じめんや たおれた きの うえを じっ
くり かんさつすると、こんなに きれいで ふしぎな
いきものが みつかります。



みつけたよ さわったよ にわのむし

澤口 たまみ/ぶん 田中 清江/え 福音館書店

「ねえねえ、おかあさん。うえきばちのしたに、むし
がたくさんいるよ…」ダンゴムシ、ワラジムシ、ゲジ、
クモ、カナヘビ。おちばのしたや、じめんのなかに、い
るよ、いるよ、たくさんのおむしたちが。



てん ひ 天の火をぬすんだウサギ

ジョアン・トゥロトン/さく 山口 文生/やく 評論社

むかしむかし、まだ地上に火がなかったころのおはな
し。寒さにふるえた動物たちは、天の人のところから火
をぬすむことにしました。いちばんかしいウサギが、
はねかざりをつけてでかけていきました。



こぎつねコンとこだめきポン

松野 正子/文 二俣 英五郎/画 童心社

川むこうのだれかさんとはあそんじゃだめ。というい
いつけをやぶり、化けくらべをしていたコンとポン。
急におむかえがきたら、さあ、たいへん。入れ替わっ
たまま帰ることになってしまいました。



おいしいのぼうけん

ふるた たるひ・たばた せいいち/さく 童心社

さくらほいくえんでは、わるさをした子どもは、おし
いれのなかに閉じこめられてしまいます。そして、おし
いれのなかには、なんと、ねずみばあさんが支配する
世界への入り口があったのです。